

## 郡上農林事務所の普及活動状況 令和5年2月28日現在

### 今月の重点活動

#### ■青年農業士 高校生に農業の現場を紹介

2月9日、郡上高校の園芸科学科2年生と総合農業学科群1年生の約70名に対して、郡上地区の青年農業士が「移住して農業」と題して、自らの就農及び今後の課題等を紹介した。

これは、高校生に実際の農業経営を学んでもらおうと県事業「農業の現場を学ぶ出前講座」により実施したもので、郡上高校では毎年、市内の青年農業士が講師を務めている。

この2年間は新型コロナウイルス感染症対策の影響で中止やリモートとなったが、今年度は3年ぶりの対面での開催となった。初山氏からは就農までの経緯や今後農業を行っていくための課題、これから農業分野の目指す役割などを生徒へ熱心に語り、生徒からは終了後のアンケート調査で「農業に興味・関心を持った。」との回答が寄せられた。

農業普及課では、今後の青年農業士の活動を支援するとともに、次に続く若い農業者の育成について、関係機関と連携して取り組む。



【青年農業士が高校生に講義】

### 郡上の農業・農村を支える人材育成

#### ■郡上園芸特産振興会・青年農業士会 インボイス制度説明会を開催

郡上園芸特産振興会及び郡上地域青年農業士連絡協議会は2月24日に関税務署の職員を招いて「インボイス制度説明会」を開催した。

税制改正に伴い令和5年10月から開始されるインボイス制度は、郡上市内の農業者にも影響を与える可能性が高い。参加者の多くは消費税の免税事業者であり、今後課税事業者になるかどうかも含め検討する必要があることから関心は高く、説明会には32名が出席した。

農業普及課では、インボイス制度の周知や対応について継続して支援を行っていく。



【挨拶する青年農業士副会長】

### 安心で身近な「郡上の食」づくり

#### ■WCS 飼料用イネの安定生産支援

WCS (ホールクロップサイレージ)の取組に係る検討会が、1月13日JA郡上営業所、2月16日JA白鳥営業所で開催された。

この検討会は、畜産と耕種のマッチングを目的に、JAが主催し、畜産農家・耕種農家・関係機関が参加して開催されており、令和4年産WCSの価格・品質、令和5年産WCSの必要量・作付面積等が話し合われた。農業普及課からはWCSに使用可能な農薬等について情報提供した。

飼料価格が高騰し畜産の経営が厳しいなか、国産の飼料が求められており、今後も、関係機関と連携しながら、有望品種の選定などWCSの安定生産を支援していく。



【WCS取組検討会の様子】

## 郡上農畜水産物のブランド展開

### ■だいこん ひるがの高原だいこん 設立 50 周年記念式典開催

2月27日、ひるがの高原だいこん生産出荷組合設立50周年記念式典が生産者をはじめ、関西北陸中京の各市場や各機関の関係者約120名が出席し開催された。式典では、永年産地の発展に貢献した市場や関係者20名に感謝状が贈呈され、郡上市の日置市長や郡上市議会の田代議長をはじめ12名が祝辞を述べられた。

ひるがの高原だいこん生産出荷組合は、昭和48年に設立された高鷲村高冷地野菜生産組合が前身となり、今日まで西日本最大の夏だいこん産地として関西地方を中心に出荷をしている。

農業普及課では、今後も産地出荷量を維持するための、栽培技術支援等に取り組んでいく。



【川端組合長による式辞】

### ■夏秋トマト 個別面談を実施

郡上園芸特産振興会夏秋トマト部会では2月13～21日に個別面談会を開催し、次年度の施肥設計等について確認・支援を行った。

昨年は夏季の高温や長雨、台風接近による天候不順などがシーズンを通して続いたため、生育後半の出荷量を落とす一因となった。

こうした中、農業普及課やJAでは、天候に左右されにくい生育を目指すため、土壌診断結果に基づく施肥体系や計画的な土づくりについて個々に助言し、終盤までコンスタントな出荷ができるよう提案を行った。

近年は気象の変化が大きくトマト栽培が難しい状況が続いているが、施肥技術の改善を図り夏秋トマト産地の支援を継続していく。



【土壌診断結果を基に施肥設計を検討】

### ■夏いちご 来年度活動に向けて担当者会議で検討

2月22日に夏いちご担当者会議が開催され、夏いちご栽培における病虫害防除対策技術や新品種試験等について、革新支援専門員等関係者らと検討を行った。

病虫害防除対策技術の改善では、IPMの考えを取り入れた病虫害防除に変えていくために、まずは産地の被害発生状況やハウス周辺環境を把握することとし、いちご新品種検討については、産地への事前説明を行い試験概要の共有をすることから始めることなどが話し合われた。

農業普及課では、高品質で安定した夏いちご生産に向けて、適正な防除体系検討や新品種の現地実証試験などの支援を行う。